

単元評価規準と小単元評価規準

研究事例	第1章 商業の学習ガイダンス 進路資料と卒業生の受験報告書を活用した授業展開例			
単元名	第1章 商業の学習ガイダンス 1 21世紀を生きる 2 ゆっくり楽しく学ぶ			
単元の目標	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。			
	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
単元の評価規準	商業の学習ガイダンスに関心をもち、商業を学ぶ目的と学び方及び商業の学習分野の意義について、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。	商業を学ぶ目的と学び方及び学習分野について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して主体的、継続的な学び方や自らの進路をとらえている。	商業を学ぶ目的と学び方及び学習分野に関する様々な資料を活用して、商業の学習分野と進路のかかわりについて把握するとともに、その過程及び結果を具体的に説明する。	商業の学習ガイダンスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、商業の学習と進路の結びつきの大切さを理解している。

小単元名	2 ゆっくり楽しく学ぶ（3時間）			
小単元の目標	商業の学習分野と資格取得との関係や卒業後の進学先や就職先など進路についてのガイダンスを行い、将来のスペシャリストとして必要とされる専門性の基礎・基本の学習の重要性について理解させる。			
	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
小単元の評価規準	商業の学習分野に関心をもち、商業の学習分野の目指す能力や科目の内容と資格取得との関係及び学習分野と進路とのかかわりについて、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。	商業の学習分野の目指す能力や科目の内容と資格取得との関係及び学習分野と進路とのかかわりについて、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して自らの進路をとらえている。	商業の学習分野の目指す能力や科目の内容と資格取得との関係及び学習分野と進路とのかかわりについて、様々な資料を活用して把握するとともに、その過程及び結果を具体的に説明する。	商業の学習分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、目指す能力や科目の内容と資格取得との関係及び自らの学習と進路の結びつきの大切さを理解している。

## 小単元の指導と評価の計画

### 小単元「ゆっくり楽しく学ぶ」の指導と評価の計画

授業の流れ			一次 学習活動のアウトライン (1時間)			
			二次 ゆっくり楽しく学習しよう (2時間)			
次	時	学習内容	学習活動における具体の評価規準および評価方法			
			ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
1	1	・商業の学習分野が目指しているマーケティング能力、国際交流能力、会計活用能力、情報活用能力と4つのビジネス分野、商業科目、教育課程の関連を理解する。	・商業の学習分野に関心を持ち、なぜ商業科目を学ぶのかについて意欲的に調べたりまとめたりしようとする。	・商業の学習分野に関心を持ち、なぜ商業科目を学ぶのかについて、様々な角度から考察しようとする。	・商業の学習分野に関心を持ち、なぜ商業科目を学ぶのかについて、様々な資料を活用して客観的に把握するとともに、その過程及び結果を具体的に説明する。	・商業の学習分野に関心を持ち、なぜ商業科目を学ぶのかについて基礎的・基本的な知識を理解している。
2	1	・商業の学習分野の目指す能力や科目の内容と資格取得との関係及び学習分野と進路とのかかわりについて理解する。	・商業の学習分野の目指す能力や科目の内容と資格取得との関係及び学習分野と進路とのかかわりについて、自らすすんで調べたりまとめたりしようとする。	・商業の学習分野の目指す能力や科目の内容と資格取得との関係及び学習分野と進路とのかかわりについて、様々な角度から考察しようとする。	・商業の学習分野の目指す能力や科目の内容と資格取得との関係及び学習分野と進路とのかかわりについて、様々な資料を活用して客観的に把握するとともに、その過程及び結果を具体的に説明する。	・商業の学習分野の目指す能力や科目の内容と資格取得との関係及び学習分野と進路とのかかわりについて、基礎的・基本的な知識を理解している。
	2	・卒業生の進路研究を通して、自らの進路を見据え、高校生活で取り組むべきことを理解するとともに、商業の学習と進路との結びつき、学び方を理解する。	・卒業生の進路を参考にできるよう、自らすすんで調べたりまとめたりしようとする。また、社会の変化の中で、生涯学び続けることの必要性について意欲的に調べたりまとめたりしようとする。	・卒業生の進路から、自らの進路目標達成のために必要な事柄を考えようとする。また、上級学校への進学必要性や、生涯学び続けることの必要性について、様々な角度から考察しようとする。	・卒業生の進路に関連した様々な資料を活用して自らの進路目標達成のために必要な事柄を客観的に把握し、その過程及び結果を具体的に説明することができる。	・卒業生の進路から、自らの学習と進路の結びつきの大切さを理解している。また、上級学校への進学の必要性や、生涯学び続けることの必要性について理解している。

# 学 習 指 導 案

科 目	ビジネス基礎	単元名	第1章 商業の学習ガイダンス 第2節 ゆっくり楽しく学ぶ
本時の主題	2. ゆっくり楽しく学習しよう（3時間目／3時）		
本時の目標	①卒業生の進路に関心を持ち、自らの進路選択について進んでまとめる。 <div style="text-align: right;">【関】</div> ②進路目標を達成するためにはどのような高校生活を送る必要があるか、自らの適性や必要な資格、上級学校への進学の可能性などを考え、それらを明確にしようとする。 <div style="text-align: right;">【思】</div> ③進路目標を達成するためにはどのような高校生活を送る必要があるか、自らの適性や必要な資格、上級学校への進学の可能性などについて、さまざまな資料を活用して客観的に把握し、具体的に説明する。 <div style="text-align: right;">【技】</div> ④自らの進路目標達成のためにどのような高校生活を送る必要があるかや、生涯学習の重要性について理解している。 <div style="text-align: right;">【知】</div>		
指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価	
<導入>  ・進路に関する資料の活用方法を理解させる。  10分	・進路に関する資料を活用し、卒業生の進路について調べる。  ・資料の中から3人の事例を選択し、ワークシートに記入する。	・卒業生の進路別一覧を配布する。  ・その中から3人を選択するよう指導する。	注1  注2 注3 資1
<展開>  ・生徒自身の進路目標を具体化させ、目標達成のために必要な事柄を考えさせる。  30分	・卒業生の受験報告書や受験体験記から、適性や必要な資格、上級学校への進学の可能性について調べ、ワークシートに記入する。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         ・自分の進路目標が具体的に定まっていない生徒はいますか？                          ・卒業生の進路の中に、自分の進路目標の参考になるものがないという生徒はいますか？                     </div>	・上記卒業生の受験報告書と受験体験記を配布し、生徒自身の進路目標達成のために、必要な事柄を具体的に考えるよう指導する。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         [評価]                          多くの事例を調べているか。                          【関】                          &lt;評価方法&gt; (目標①)                          取組姿勢                           [評価]                          具体的にワークシートにまとめているか。                          【思】                          &lt;評価方法&gt; (目標②)                          ワークシートの記入                     </div>	資2  注4
<まとめ>  ・自らの進路目標達成のために、どのような高校生活を送る必要があるかを考えさせる。また、生涯学習の重要性について説明する。	・高校生活の抱負や決意をワークシートに記入する。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         生涯学習という言葉を知っていますか？                     </div>	・自ら考え、自ら学ぶ態度や、生涯学習の重要性など、高校生活を「社会へ出るための準備期間」と捉えるよう意識させる。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         [評価]                          進路目標達成のためにどのように高校生活を送る必要が                     </div>	注5

		<p>あるか。【知】          &lt;評価方法&gt; (目標④)          取組姿勢          ワークシートの記入</p> <p>※次時に記入したワークシートについて、数名に発表をさせる。</p> <p>[評価]          自分のまとめた内容を具体的に解りやすく発表できているか。</p> <p>【技】          &lt;評価方法&gt; (目標③)          発表の様子</p>
--	--	--

<指導上のポイントと考察>

注1 科目「ビジネス基礎」の特性として、商業を学ぶためのガイダンス機能があり、この小单元では、進路意識を高めさせる内容が含まれている。

注2 卒業生の進路別一覧を配布するが、ここでは公開できないため、この展開例では例示していない。

注3 柔軟な視点、幅広い視野で進路について考えることができるよう、数多くの卒業生について調べさせる。

資1 ワークシート記入例参照のこと。

資2 毎年3年生の進路決定後記録させ、保管・蓄積しなければならない。

注4 生徒本人が、いくつか興味のある進路目標の中で、ここでは仮にひとつを具体化させ調べさせる。

卒業生の資料の中に、生徒本人の参考にできるものがない場合も考えられるが、注3の視点で考えさせる。

注5 高校での学習は基礎基本が中心であり、社会の変化の中で、私達は生涯学び続ける必要があることを理解させる。

ワークシート（記入例）			
年・組・番・氏名	年 組 番 氏名		
<b>卒業生の進路（注1）</b>			
	「卒業生の進路」	「卒業生の進路」	「卒業生の進路」
就職・進学の違い	就職（生産関係）	就職（実務職）	進学（四大）
（就職先・進学先、職種や学部学科を具体的に記入する。）	T自動車株式会社	株式会社Dソー	N県立大学 地域創造学部 観光経営学科
必要な事柄 （学業成績や資格、その他について、できる限り詳しく記入する。）	学力 体力（部活動） 集団生活で学ぶこと	学力 SPI問題集の取組 自分自身をPRできるような高校生活での取組 しっかりとした自分の考え	基礎学力 大学で学ぶ明確な目的意識 高校生活での積極的な取組姿勢
<b>私の進路（注2）</b>			
将来就きたい職業	ツアーコンダクター		
高校卒業後の進路	就職	進学	（どちらかを で囲む）
具体的な会社名や学校種別	N県立大学		
必要な事柄 （学業成績や資格、その他について、できる限り詳しく記入する。）	学力、特にぼくの場合は英語の力をつけたいといけな。それに、小論文では経済学の問題も出題されているようなので、新聞を読んだり、読書などももっと必要だと思う。		
上級学校への進学の必要性	必要性が高い		
<b>高校生活の抱負や決意</b>			
<p>商業高校からでは国公立四大への進学は不可能だと思っていましたが、先輩の受験報告書や受験体験記を読んで、可能性がないわけではないとわかりました。</p> <p>ぼくは、将来どうしてもツアーコンダクターという職業に就きたいし、海外旅行の仕事に関わりたと思っています。</p> <p>この先輩がどのような高校生活を送っていたのか、またどのような勉強にどんなふうに取り組んでいたのかももっとも知りたいです。</p> <p>「卒業生と語る会」という行事もあると聞きました。ぜひこの先輩から話を聞いてみたいと思います。</p> <p>自分自身の夢を実現するために、ぼくは部活動と勉強の両立を必ずやり遂げたいと思います。今日の授業で、先輩の進路について知ることができたおかげで、これからの高校生活に大きな目標ができました。</p> <p>自分自身の夢に向かって、何事にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。</p>			



・実務職

(平成14年度経理科卒)

私は、                    に入学したときから卒業後は就職すると決めていました。しかし、どんな職種につくか、どんな会社で働きたいかというのは漠然としていて、ただ大企業で働きたいと思っていました。そのために出席日数・勉強・部活動・資格取得などさまざまな事に積極的に取り組んできました。

校内選考会で受験する企業が定まってからでは過去の受験報告書をよく読み準備してきました。試験内容には、SPI検査の国語・数学・適性検査、個人面接、集団面接がありました。SPI検査はパターンが決まっているので多くの問題に取り組みたいと思い、受験する企業が定まってから試験までに4冊の問題集をこなしました。個人面接では自分自身についての質問が多かったため、自分の長所をたくさん探し少しでも多くアピールできるように準備しました。これは性格的なことだけでなく学校生活を充実させていけばおのずとアピールする部分が増えてくると思うので、学校生活を充実させる事は本当に大切な事だと思いました。そして面接では答える内容だけでなく、態度もとても大切になります。私は面接が苦手なので練習をするのも嫌で拒んでいました。しかし試験が近づいてきた頃担任の先生が進路の先生に練習を頼んでくださり、回数を重ねるごとに少しずつ自信がついてきたので、もっと早くから練習していればと少し後悔もしました。そして試験当日は練習のときと同じような質問をされ、自信を持って答える事ができました。

合格できたときは、嬉しさより驚きのほうが多く、私がこの会社で本当に働けるかという不安も出てきました。そしてそのような気持ちだけでなく、それまでお世話になった先生方に本当に感謝しました。

就職は決まりましたがこれで勉強は終わりではありません。これからも今まで以上に多くの事を学んでいかなければならないので、今まで以上にチャレンジ精神を持ち常に現状に甘んじることなく前に進んでいこうと思います。

決断するのは自分自身

教育人間科学部 スポーツ健康科学コース  
(平成15年度 国際会計科)

私は部活動を優先した高校生活を送っていました。サッカー部の練習はとても厳しく、帰宅後は疲れてしまって勉強をする余裕はありませんでした。そこで私は定期考査前に集中して学習することにより、成績を維持しようと努めました。

3年生になり私は進路について真剣に考えるようになりました。私はサッカーが好きで将来もずっと続けていきたいと考えていました。問題は、学部にこだわらずサッカー部が強い大学を選ぶか、保健体育系の学部がある大学を選ぶかということでした。また、私はできれば国立大学への入学を希望しており、さらに難しい選択をすることになりました。9月末まで悩んだ末に、私は大学の教育人間科学部の推薦入試を受験しようと決断しました。

受験科目は小論文と面接でした。小論文は授業に加えて、部活動終了後に、小論文担当の先生の指導をうけて何回も練習しました。また、関連分野の資料を多く読みました。3年間サッカー部で挨拶や礼儀、敬語の使い方を厳しく指導されてきたおかげで面接には自信をもって取り組むことができました。

推薦入試当日はさほど緊張しておらず、むしろ、「やってやろう」という気持ちでした。小論文は練習を重ねてきたテーマと類似の問題が出題され、時間内に書ききることができました。面接は待ち時間が三時間半もあったこと、面接官が9人だったことに驚きましたが、慌てることなく堂々と自分の言いたいことを面接官に伝えることができましたと思います。

この合格は自分自身の努力だけでなく、私を支えてくださった先生方、そして家族、友達のおかげだと本当に感謝しています。しかし何をしたいのか、そしてそのために何をするのかという行動をするのは自分自身です。強い意志を持って、進路実現に向けて努力することが大切だと思います。

## プラス要因を見つけよう

地域創造学部 観光経営学科

(平成15年度 国際会計科)

私は旅行関係の仕事に就きたいと思っていました。2年生の時に資料で調べたところ、                    大学の観光経営学科を見つけました。この大学では、ホテル経営論、観光文化論、地域文化研究などを学ぶことができます。私が学んでみたい観光に関する講義が豊富にあることから、この大学を第1志望にしてがんばってきました。目標を早く見つけることで、勉強の仕方が変わってきました。その勉強の仕方は、日頃の成績を上げると共に目標に向かってのプラスになる要因を見つけることでした。学校で行われたキャリアガイダンスの進路説明会で名古屋観光専門学校の方に話を聞きました。その後、自宅に送られてきたパンフレットの中に、国内旅行業務取扱主任者の講習会の案内があり、この資格の取得に挑戦してみようと決めました。3年生の夏休みに、専門学校で毎日5時間講習を受けた後自主学習でわからない所を解決し、問題集を解いていきました。その内容は、旅行業法・約款・地理という3つの項目でした。学習範囲が広く覚えるのが大変でしたが諦めずやり遂げました。簡単に取得できる資格ではありませんが、努力の結果10月に国内旅行業務取扱主任者の資格を取得することができました。この資格が私に自信を与えてくれました。

                    大学の推薦入試は、小論文と英語・国語の学力試験・面接・書類審査の総合の評価で合格が決まります。これは、私にとってはとても高いハードルでした。英語は、問題集を使って勉強していきました。小論文は、一年分の新聞の切抜きから話題になったコラムを使い練習しました。国公立というプレッシャーがありました。日頃の努力と滑り止めとして受験した                    大学現代社会学部の合格が自信につながりました。先生方の熱い指導により知識が深まり、最後まで諦めずやり遂げることができました。大学で何を学びたいのか考えることが進路決定の第一歩であると思います。